

---

# 【イナズマイレブン】天才と言われし、星のストライカーは…暗黒少女となった ミ

魔歩

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

【イナズマイレブン】天才と言われし、星のストライカーは…暗

黒少女となつた ミ

### 【Zコード】

Z8538Y

### 【作者名】

魔歩

### 【あらすじ】

とある学校に…サッカーを愛する少女がいました。

その少女はサッカーが大好きで寝ても起きても『サッカー、サッカー』と口にするほどのサッカーが大好きでした。

その少女が中学に入るとすぐにマスター・ランクチームのキャプテンに承認されました。

その女の子はチームの為に沢山貢献していました。

そしてその女の子には大切な弟がいましたー…。

その時、父親から虐待を受けられ、母親・弟と一緒に乗り越えていました。

ですが…ある日、帝国学園・監督がその女の子の前に現れました。

その日は女の子に取つて、大切な日でした。

決勝戦で母も休日で弟と見に行くと張り切つていました。

ですが…帝国への勧誘を断つた女の子は…大切な弟を何者かによって暗殺されました…。

少女にとつてはとても辛い出来事で、父親からの虐待がエスカレートをし、耐えられなくなつた母親は、少女とともに家出をしました。

ですが、心にある傷はまだ…癒えないままでした。

## 設定

海老原 梨菜

一躍有名となつた星のストライカー

転校生として雷門中学校に。

（黒髪？サイドテール）（緑色の瞳、右腕には弟から貰つた星柄のリストバンドをいつもつけている）

家族構成は、父親（離婚）に母親、弟の優希（他界）。  
今では二人ぐらし。

小学6年の二学期から父親の虐待が始まり、パチンコとかでお金を自由放題に使用し、帰宅しては暴力ばかりを振るつていた。  
成績優秀で幼い頃からサッカー選手に憧れ、夢はチームの主将だった。

そんな夢が叶い、前までいた学校では圧倒的な実力持ちの努力家で、一年生ながらもマスター・ランクチームのキャプテンを務めた。

そしていろんな試合に出でては必ず優勝していた事から「星の女神様」と言われていた。

だがある日、帝国学園の総師と名乗る者が現れ、莫大な金を利用して「帝国学園に来ないか？」とスカウトされるものの、断る。

だがそれを聞いていた父親からの暴力が増した。

そして数日後、弟が何者かによつて殺され、もしかしたら自分のせいで殺されたのではないか？…と、思つていた時、父親に首を絞め

られては殺されそうになつた所、母親に助けられ、離婚（家出）をする。

弟 海老原優希

何者かによつて殺害され、他界。

自分の姉を誇りに思い、誰よりも姉の事を心配していた。

母・・稻妻総合病院の看護師として働いている。

梨菜がまたサッカーに専念して欲しいと願つている。

【朝：06：30】

今日から靈門に通つのか…。

ここからだと結構遠いんだよね…。

と、そんな事を思いながら私は制服に着替えていた。

着替えていた途中、お母さんが部屋に入ってきた。

お母さん：「あら、もう起きてるみたいね^\_^  
夢みたいね。」  
「うして一人で暮らせるなんて」

と、言いながら私が寝ていたベッドに座つた。

お母さんはお父さんと離婚して凄く幸せそうだった。

それに新車も購入したみたいだし…私にもヨークマンとか色々買つてくれたし…。

梨菜：「やつだね…。お母さん、仕事決まった？」

お母さん：「ええ…！…なんとね…！…って、早く降りてきなさい…！…そしたら、早く朝食を済ませなことね」

と、言いながら下りていった。

私はタンスの片方のドアを閉める前、優希から貰ったハート型の鏡を見た。

梨菜：「…優希…私、行つてくるね」

＝ 1 F にて ＝

お母さん：「そうそう…！…私ね、稻妻総合病院で働く事にしたの。前も病院で働いてたでしょ？それでこいつでも働くこととしたの^\_^ここれからは、遠いけどね…」

梨菜：「その為に車を買つたんだね…納得」

お母さん：「ええへへそれとね、月曜日と水曜日と金曜日は送り迎えが出来るのよ」

と、私が「ミルクココアを飲むつとしたとお母さんの話を聞いて詰ました。

梨菜：「はあつへー送り迎えへー？」

お母さん：「ええ。わづかへー（ - 、 - ）」

お母さん：「幸せすきめーへーへー

（ ハニ…学校、クラスにて・飛ばしてすみませんへへ ）

先生：「えーー、新しく入った海老原さんです。前いた学校は手羽中ですよね？」

梨菜：「はー」

先生：「ところの事です。席は…豪炎寺君の隣だね。」

豪炎寺つて…木戸川の豪炎寺…?

そう思つてた時、豪炎寺つて人がこゝうちを見てきた。

私はそのまま一番後ろに行き、一応自己紹介とかして座つた。

IN休み時間

?…「ねえ…海老原さん…！」

梨菜：「はい？」

秋：「私、木野秋。秋つて呼んでへへ私も梨菜で良いよね？」

梨菜：「…うん。全然大丈夫だよ^\_^」

秋：「良かつたー。あ！それと、私、サッカー部のマネージャーな  
の」

サッカー部？…ああ…確かあつたね…。

弱小サッカー部つて事で、手羽中でもそんな噂があつたね‥。

と、思いながら秋の話を聞いていた。

秋：「梨菜もサッカー好き？」

梨菜：「私は…その…好きって言つた…」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8538y/>

【イナズマイレブン】天才と言われし、星のストライカーは...暗黒少女となつ

2011年11月25日17時48分発行